

# (E) 舟状骨骨折

※柔理テキスト P240~243

## 【特徴】

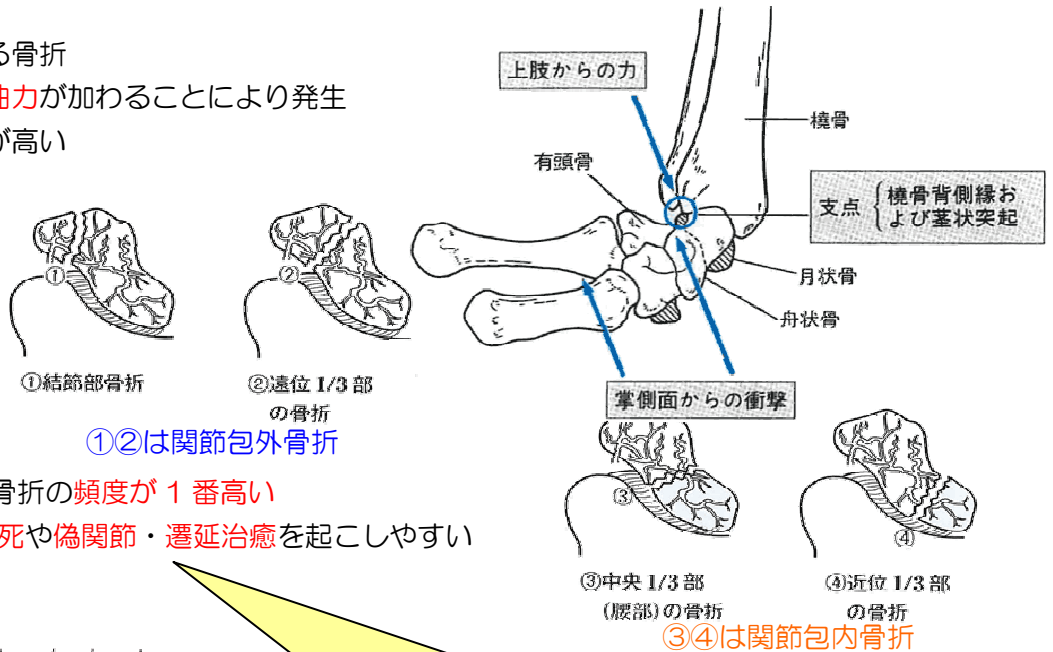
- ・舟状骨は近位列手根骨に属す
- ・形も大きく可動性が大きいので、圧迫力・撓屈力・剪断力などの外力を受けやすい
- ・手関節捻挫と誤診されやすいので注意
- ・栄養血管の多くは背側末梢側から入るので、近位骨片に偽関節や阻血性壊死が起こりやすい

## 【原因（発生機序）】

- ・ほとんど全てが介達外力による骨折
- ・手関節伸展（背屈）による屈曲力が加わることで発生
- ・手根骨骨折中、最も発生頻度が高い

## 【分類】

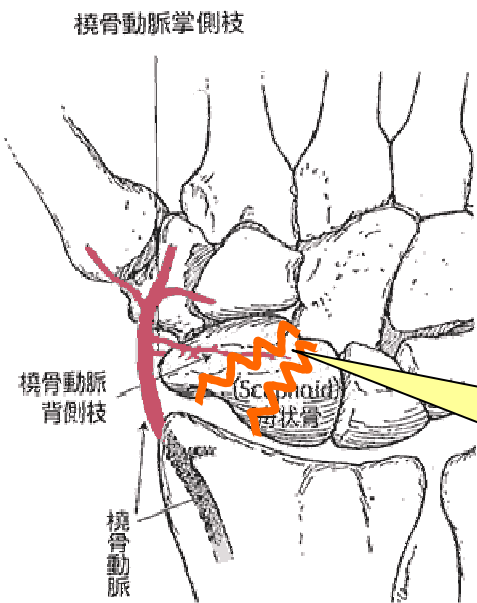
- ① 結節部骨折
- ② 遠位 1/3 の骨折
- ③ 中央 1/3 (腰部) の骨折
- ④ 近位 1/3 の骨折



①②は関節包外骨折

③④は関節包内骨折

- ※ 中でも中央 1/3 (腰部) の骨折の頻度が 1 番高い
- ※ 中央～近位の骨折では骨壊死や偽関節・遷延治癒を起こしやすい



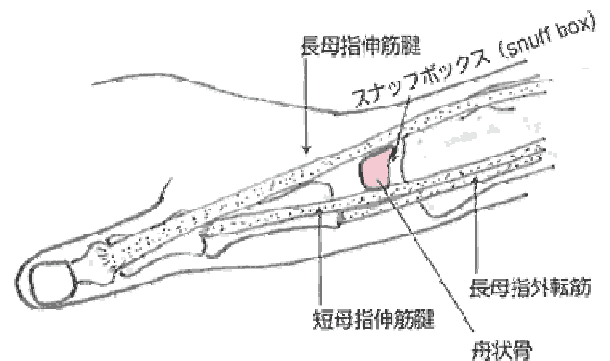
<理由>

- ・栄養血管が末梢・背側からのみである
- ・関節包内骨折のため、血糊が関節液により薄まる
- ・近位列最大骨であり、他の骨より剪断力が働きやすい

このため中央～近位の骨折は、骨折時、血管からの栄養を受けづらいので、偽関節などになりやすい

## 【症状】

- 1) **スナッフボックス (snuff box) の腫脹・疼痛**
- 2) 手関節の運動制限と背屈・撓屈時に際し、疼痛著明
- 3) **スナッフボックス及び舟状骨結節部の圧痛**
- 4) **第 1, 2 中手骨の骨軸に沿った軸圧痛**
- 5) **握手時に手根部の疼痛**
- 6) 陳旧例では、運動痛・運動制限・脱力感など  
(腕立て伏せができないなど) …偽関節による



## 【難治の理由】

- 1) 近位手根列最大の骨であり、撓屈・尺屈に際し、骨折部に剪断力が働く
- 2) 近位骨片への血液供給が絶たれやすく、容易に壊死に陥る
- 3) 中央部～近位部の骨折は関節内骨折のため、骨膜性仮骨が期待できない